

RevMate

レナリドミド・ポマリドミド適正管理手順

レブメイトのご案内

はじめに

レナリドミド・ポマリドミドは、ヒトで^{さい き けい せい}催奇形性を示すサリドマイドによく似たお薬です。レナリドミドは^{にん しん}妊娠カニクイザルを用いた試験で、ポマリドミドは妊娠ウサギや妊娠ラットを用いた試験で催奇形性が報告されていることから、^{たい じ}胎児への^{ほく ろ}曝露を防ぐために守っていただきたいお薬の^{てき せい かん り て じ ゅん}適正管理手順「^{かい せつ}レブメイト」が定められています。本冊子では「^{ほん さつ し}レブメイト」について解説しています。

レブメイトについて解説した動画のご案内

患者さんやご家族、患者さんを^{かい じょ}介助する方々へ向けて、
以下のようなレブメイトについて解説した動画をレブメイトホームページに掲載しております。

レブメイト^{さく てい}策定の背景



レブメイトのご案内



動画

<https://www.revmate-japan.jp/patient/movie/>



資料

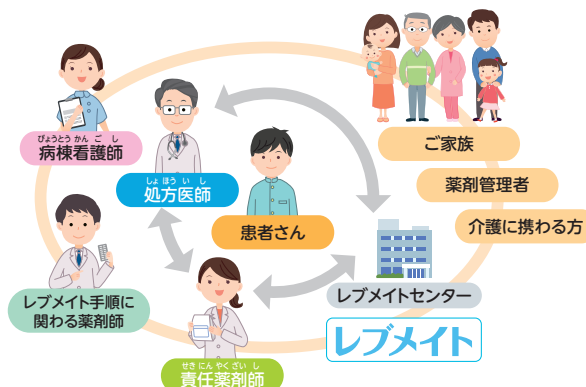
患者さんやそのご家族向けの資料は、レブメイトホームページ
(<https://www.revmate-japan.jp/patient/compliance/materials.html>) で公開しております。

目次

1	レブメイトとは	4
2	レブメイトができた理由	7
3	<small>どう ろく く ぶん</small> 登録区分	9
4	<small>かん り て じゅん</small> 管理手順	12
5	a未成年男性 の方へ： <small>にん しん かい ひ</small> 妊娠回避と <small>てき せい かん り</small> 適正管理にあたってのお願い	14
6	b未成年女性 の方へ： <small>やく ざい ばく ろ ぼう し</small> 薬剤曝露防止と適正管理にあたってのお願い	18
7	c未成年女性 の方へ：妊娠回避と適正管理にあたってのお願い	22
8	<small>かい じょ</small> 介助をする方、 <small>い りよう かん けい しゃ</small> 医療関係者にお伝えいただきたいこと	28

1 レブメイトとは

レブメイトは、レナリドミド・ポマリドミドがお腹の赤ちゃん（胎児）に重大な障害を及ぼす可能性を回避し、適正に使用していただくための手順です。レナリドミド・ポマリドミドを服用される患者さんやそのご家族、医師、薬剤師、看護師をはじめとする医療関係者、介護に携わる方など治療に関わるすべての方に適正管理手順「レブメイト」を守っていただく必要があります。



- レナリドミド・ポマリドミドを服用する**すべての患者さん**は、レブメイトを十分に理解したうえで、**レブメイトに登録**する必要があります。また、ご家族の方なども「**薬剤管理者**」として登録し、患者さんに代わってお薬の管理を行っていただきます。ただし、薬剤管理者は、処方医師の判断で不要とする場合があります。薬剤管理者の詳細についてはP.10をご覧ください。
- 未成年患者さんは**性別、妊娠する可能性により**
a未成年男性 b未成年女性 c未成年女性 の3つの登録区分にわけられます。
- 「妊娠する可能性のある女性患者さん」や「男性患者さん」には、妊娠を回避する手順を守っていただき、定期的に避妊の状況を確認させていただきます。

登録にあたってご提供いただいた個人情報は、レブメイトの運営以外の目的で使用されることはありません。また、厳重に管理されます。

レナリドミド・ポマリドミド治療に関する同意書を記入される方へ

- あなたのレブメイト登録情報が、レナリドミド・ポマリドミドを処方する医師（以下、「処方医師」といいます。）からブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社（以下、「BMS社」）が運営するレブメイトセンターに提供され、レブメイトセンターが管理運営するレブメイトに登録されます。
- あなたが、BMS社以外が製造販売する薬剤を服用する場合には、レブメイト登録情報がBMS社が運営するレブメイトセンターからあなたが服用する薬剤の製造販売業者に提供されます。

現在服用しているレナリドミド製剤とは別のレナリドミド製剤を服用する方へ

- あなたが現在服用しているレナリドミド製剤とは別の製造販売業者のレナリドミド製剤を服用する場合、レブメイト登録情報が、これからあなたが服用する薬剤の製造販売業者に提供されます。

レブメイト登録情報とは、以下の情報のことです。

- ・ 申請日 ・ 登録日 ・ レブメイトの患者ID ・ 生年月日
- ・ 登録医師名 ・ 患者区分（a未成年男性・b未成年女性・c未成年女性）
- ・ 疾患区分（疾患名：MM・MDS(5q-)・ATLL・FL・MZL・その他）
- ・ 処方日 ・ 処方薬剤 ・ 処方医師 ・ 処方要件の確認
- ・ 剤形 ・ 処方数量 ・ 残薬数量 ・ 返却日
- ・ 返却薬剤 ・ 返却数量 ・ 同意書の有無
- ・ 「レブメイト定期確認票（様式27）」提出の有無（b未成年女性は除く）
- ・ 患者登録情報変更日及びその内容 ・ 薬剤管理者の要否

レブメイト登録情報は、レナリドミド・ポマリドミドの安全かつ適切な処方、服用、廃棄の管理のために利用します。

なぜ、レブメイトが必要なのか

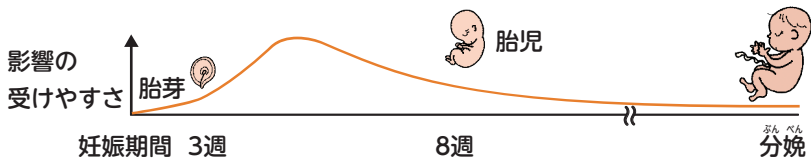
- レナリドミド・ポマリドミドは、ヒトで^{さい き けい せい}催奇形性※を示すサリドマイドに似たお薬です。レナリドミドは^{にん しん}妊娠カニクイザルを用いた試験で、ポマリドミドは妊娠ウサギや妊娠ラットを用いた試験で催奇形性が報告されています。
- そのため、レナリドミド・ポマリドミドは海外においても、お腹の赤ちゃん（^{たい じ}胎児）への被害を防ぐための^{ひ がい}管理手順のもとで使用されています。

※催奇形性：お腹の赤ちゃん（胎児）に^{しょう がい}重大な障害を及ぼす作用



レナリドミド・ポマリドミドの催奇形性による
お腹の赤ちゃん（胎児）への被害を防ぐため、
レブメイトを^{じゅん しゅ}遵守することが必要です。

■ ^{たい が}胎芽・^{えい きやう}胎児に薬が影響を与えるリスク



2 レブメイトができた理由

サリドマイドによる胎児の障害

- サリドマイドは1960年前後に睡眠薬や胃腸薬として販売された薬です。はじめは西ドイツで販売され、日本でも「妊婦や小児が安心して飲める安全無害な薬」をキャッチフレーズに販売されました。
- ところが、この薬を妊娠初期に服用した母親から、手や足、耳（聴力）、内臓などに障害のある子供が次々と誕生したのです。これに気づいた西ドイツの医師がサリドマイドの危険性を警告し、欧州各地ではすぐに薬の販売中止と回収が行われました。しかし、日本で薬の販売中止が発表されたのは警告後10ヵ月も経った後となり、被害が拡大したのです。

厚生労働省『薬害を学ぼう』より抜粋

サリドマイド被害者数（日本）

出生年	出生数
1959	12
1960	25
1961	58
1962	162
1963	47
1964	4
1969	1
計	309

公益財団法人いしずえホームページより引用

日本では死産を含めおよそ1,000名と推定され、309名が被害者として認定されています。

多発性骨髄腫に対するサリドマイドの適正使用ガイドラインより抜粋

サリドマイド^{やくがい}薬害を二度と起こさないために

- サリドマイドは、研究していく中で新たな効果が期待されるお薬として、再び注目されるようになりました。
- 2008年、適正な管理を行うことを条件として、日本でも再び使用することが承認されました。
- 妊婦さん^{にんぶ}だけではなく、お薬に関わるすべての人が適正な管理を行うことが大事です。

**サリドマイドおよびサリドマイドに似たお薬である
レナリドミド・ポマリドミドは、適正な管理を守れば、
病気に対して安全に使用していただけるお薬です。**

次のページから
レブメイトの内容について
詳しく^{くわ}説明します。
よく理解して治療^{ちりょう}をはじめましょう！



3

登録区分

レブメイトでは、患者さんを **a未成年男性** **b未成年女性** **c未成年女性** の3つの区分のいずれかに登録します。

20歳未満の患者さんを性別、初経※の有無により区分

男性

女性

以下のいずれかの項目に該当しますか？

b-① 初経を迎えていない未成年女性

b-② 産婦人科専門医が、卵巣機能が停止していることを定期的に確認した未成年女性

b-③ 初経を迎えているが、処方医師が患者の申告を踏まえ全身状態不良等の重篤な身体的理由により妊娠の機会がないと判断した未成年女性

該当する

該当しない

a未成年男性



b未成年女性



c未成年女性



※はじめての月経（生理）のこと

（妊娠する可能性のある女性患者さん）

登録区分が変更になったとき

治療中に登録区分の変更があった場合は、新たな登録区分としての説明を受けるとともに同意書の提出が必要です。

薬剤管理者の設置について

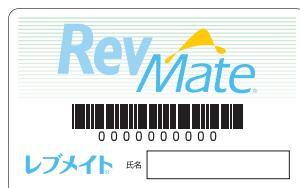
患者さん以外の方がレナリドミド・ポマリドミドを誤飲するのを防いだり、不要となった薬剤の返却などを徹底したりするため、患者さんに代わって薬剤の管理を行う方「薬剤管理者」を原則設置いただいております。「患者さんの身近な人（家族、親戚、近隣住民）」「医療関係者」「介護職員」などから、処方医師が以下の要件をすべて満たすと判断した方を認定します。

- レナリドミド・ポマリドミドが胎児に障害を起こす可能性があることを理解している。
- 処方されたレナリドミド・ポマリドミドを患者さん以外に共有したり、譲ったりしてはならないことを理解している。
- 患者さんと定期的に接する機会がある。

「レナリドミド・ポマリドミド適正管理手順に関する同意書（薬剤管理者）」の各項目の内容を理解したうえで、署名をお願いいたします。

レブメイトカードの発行について

- ① 処方医師から「レブメイト患者登録申請書」を受け取り、薬剤部（院内薬局）に提出してください。
- ② 薬剤部（院内薬局）にてレブメイトへの登録手続きを行います。
- ③ レブメイトカードが発行されます。



レブメイトカードは
受診時に
必ずご持参ください。

服用上の留意点

- 治療の途中で1回に服用するカプセルの種類や数、服用方法が変更になることがあります。処方医師の指示に従って服用してください。
- 治療中止やお薬の変更により不要になった場合は、お薬を薬剤部（院内薬局）に返却してください。その際、返金はありません。

レブメイトの遵守が必要な薬剤については、レブメイトホームページ
(<https://www.revmate-japan.jp/>) をご覧ください。

はじめてお薬をもらうときは、治療^{ちりょう}への同意が必要です。

はじめて服用^{ふくよう}するときにお薬を受け取るまでの手順



a未成年男性



b未成年女性



c未成年女性

妊娠^{にん しん}反応^{はん のう}検査^{けん さ}と避妊^{ひ にん}の
状況^{じょう けい}の確認^{かく ねん}
(治療開始^{ちりょう かいし}の4週間前^{※1}と
治療開始時^{※2})

①処方^{しやう ぽう}医師^{い し}からレブメイトや遵守^{じゅん しゆ}事項^{じ こう}について説明^{せう めい}を受ける。

②レブメイトや遵守事項^{じゅん しゆ じ こう}を理解^{り かい}し、**レナリドミド・ポマリドミド**
による治療^{ちりょう}に同意^{どう い}する。^{※3}

③書類一式^{しやく ざい ぷ}を薬剤部^{やく ざい ぶ}（院内^{いん ない}薬局^{やく きょく}）に提出^{てい だう}する。

④薬剤師^{やく ざい し}からレブメイトの遵守事項^{じゅん しゆ じ こう}について再度^{さい だふ}説明^{せう めい}を受ける。

⑤お薬とレブメイトカードを受け取る。

※1 治療開始^{ちりょう かいし}予定日^{よき じつ}の4週間以上前^{せい こう しゅう ひか}から性交渉^{せい かく せう}を控えている場合は省略可

※2 治療開始^{ちりょう かいし}3日前^{さん じつ ぜん}から直前^{ちき ぜん}

※3 代諾者^{だい だく しゃ}は必ず署名^{だい だく しゃ}をしてください。また、患者さん本人^{ひやう さん ほん じん}が12歳^{さい}以上の場合は、
患者さん本人も署名^{だい だく しゃ}をしてください。

2回目以降お薬をもらうときは、^{ざん やく}残薬を確認します。

「^{てい き かく にん ひょう}レブメイト定期確認票」を受け取ったときは、^{がい らい じゅ しん じ}次回の外来受診時に^{やく ざい し}薬剤師または^{じょ ほう い し}処方医師に提出してください。

続けて服用するときにお薬を受け取るまでの手順



a未成年男性



b未成年女性



c未成年女性

^{にん しん はん のう けん さ ひ にん}
妊娠反応検査と避妊の
状況の確認

① 処方医師から^{じゅんしゅ じ こう}レブメイトや遵守事項について説明を受ける。

② ^{とう るく く ぶん}登録区分に変更がある場合は申し出る
(^b未成年女性 から ^c未成年女性 に変わった場合など)。

③ 前回^{しよ ほう}処方された^{ざん やく すう}お薬の種類と残薬数を報告する。

④ 書類一式を^{やく ざい ぶ いん ない やっ きょく}薬剤部(院内薬局)に提出する。

⑤ 薬剤師からレブメイトの遵守事項について再度説明を受ける。

⑥ お薬を受け取る。

「^{てい き かく にん ひょう}レブメイト定期確認票」を受け取ったときは、
記入のうえ、^{かい らい じゅ しん じ}次回の外来受診時に^{やく ざい し}薬剤師
または^{じょ ほう い し}処方医師に提出する。

- ^b未成年女性 および入院時は「レブメイト定期確認票」の
記入は不要です。

妊娠回避のお願い



パートナーのお腹の赤ちゃん（胎児）に
重大な障害を及ぼす可能性があります。



妊婦、赤ちゃん（胎児）への薬剤曝露を
防止しなければなりません。

お薬は精液に移行します。

治療中（休薬期間を含む）ならびに治療終了4週間後まで以下の
事項を守ってください。

- 性交渉を控えてください。
- 性交渉を行う場合は必ずコンドームを着用してください。
さらに、パートナーにも避妊※していただくことを推奨しています。
- 妊婦との性交渉は完全に控えてください。
- 精子・精液の提供はしないでください。

※避妊法の詳細については、「避妊法」（24ページ）をご覧ください。

パートナーが妊娠した、
あるいは妊娠した可能性がある場合は
ただちに処方医師に相談してください。

適正管理にあたってのお願い

- 処方医師の指導に従って服用してください。
- お薬を家で保管するときは、自己の責任のもとで管理してください。
または、薬剤管理者が管理してください。
- 2ヵ月に1回渡される「レブメイト定期確認票」に回答し、必ず提出してください。
- レブメイトを守らなかった場合、治療が中止となることがあります。

「レブメイト定期確認票」は、ご自宅でお菓の管理や妊娠回避を適切に行うなど、レブメイトの手順が守られているかを確認するためのものです。

〒0000 0000 0000 = RevMate センターより FAX: 0120-021-507
TEL: 0120-071-025

レボメイト定期票

レボメイト定期票は必ず大切にしてください。
レボメイト定期票の取扱いについてはこちらをご覧ください。

70001

A 男性

これはレボメイトの手帳が守られているか、確認するためのものです。

記載されているレボメイトの生年月日と写真が正しいか確認してください。写真が正しいか、確認できない場合は、写真が正しいと判断し、そのまま記載してください。この確認結果すべてをA男性の手帳に対して行っていますので、一斉にまとめてください。

A男性の方へ

最近2か月の行動を思い出して、お現在の状況を教えてください。(必ず、回答のどちらか一方に○を記入してください)。
例: 回答として、あなたのレボメイトが正しいか確認できない場合は、写真が正しいと判断し、そのまま記載してください。

記号	質問	○	回答
1	お家の保管・管理を適切に行いましたか?	<input type="checkbox"/>	適切に管理 できなかった
2	過去2か月の間、性交渉がなかった。 又は既定された避妊方法を行っていましたか?	<input type="checkbox"/>	性交渉があった。 又は、 避妊を避けた
3	お薬を他人へ譲渡したり、あるいは廃棄したとき、 （漏洩や汚染）が心配な限り、またそのとき、ご連絡ください。	<input type="checkbox"/>	譲渡したり 廃棄しました
4	お薬を紛失しましたか?	<input type="checkbox"/>	紛失していません 紛失しました

※ 回答内容はA男性のAAX記録簿、票簿にもなる記録簿を記入しております。

以上で確認は終了です。ご協力ありがとうございます。

RevMate 定期票

81100

患者さんの
生年月日

年 00 月 00 日

医師の
署名

年 00 月 00 日

医師の
記入欄

年 20 月 00 日

定期票返却窓口(〒0000 0000 0000)

連絡先
TEL 0000 0000 0000

連絡先
TEL 0000 0000 0000

RevMate 70001-2-02

お薬の^{てき せい かん り}適正管理と^{ちゅう い じ こう}注意事項

保管・管理の注意事項

他の人^{じょうと}に譲渡しないでください。



飲食物と区別された場所に保管してください。



紛失^{ふんしつ}しないようご注意ください。

万が一、お薬を紛失^{ふんしつ}した場合は、ただちに^{やくざいぶ}薬剤部
(^{いん ない やっきょく}院内薬局)に連絡してください。



^{ふく よう}服用期間中の注意事項

カプセルを開けずにそのまま飲んでください。



^{ち りょうちゅう}治療中ならびに^{ち りょうしゅうりょう}治療終了4週間後までは
^{けん けつ}献血をしないでください。



14ページの「^{にん しん かい ひ}妊娠回避のお願い」もあわせて^{じゅんしゆ}遵守してください。

受診時の注意事項

レブメイトカードは、
受診時に必ずご持参ください。



入院や転院をするときは、特別な管理が必要なお薬
を服用していることを伝え、レブメイトカードを提示
してください。



飲み残したカプセルの種類や数を処方医師に報告し
てください。

※ ● 治療終了時に飲み残したカプセルがある場合
は、薬剤部（院内薬局）で回収します。その際、
返金はありません。



薬剤曝露防止のお願い



お腹の赤ちゃん（胎児）に
重大な障害を及ぼす可能性があります。



他の人が間違って
服用しないよう
保管・管理を
しなければなりません。

適正管理にあたってのお願い

- 処方医師の指導に従って服用してください。
- お薬を家で保管するときは、自己の責任のもとで管理してください。
または、薬剤管理者が管理してください。
- 受診時などに、処方医師から薬剤管理に関する遵守状況の確認や説明を受けてください。
- レブメイトを守らなかった場合、治療が中止となることがあります。

「b未成年女性」は
「レブメイト定期確認票」の
提出が不要です。

登録区分の変更に関する注意事項

b未成年女性 は、治療中、登録区分が c未成年女性 に変わる可能性があります。
受診ごとに、以下を確認し、該当する場合は処方医師に申し出てください。
妊娠回避プログラム（避妊や妊娠反応検査など）を行う必要があります。

- 初経を迎えた。
- 全身状態不良などの重篤な身体的理由がなくなり、妊娠の可能性がある。

お薬の適正管理と注意事項

保管・管理の注意事項

他の人に譲渡しないでください。



飲食物と区別された場所に保管してください。



紛失しないようご注意ください。

万が一、お薬を紛失した場合は、ただちに薬剤部
(院内薬局)に連絡してください。



服用期間中の注意事項

カプセルを開けずにそのまま飲んでください。



治療中ならびに治療終了4週間後までは
献血をしないでください。



19ページの「登録区分の変更に関する注意事項」もあわせてご確認ください。

じゅ しん じ ちゅう い じ こう 受診時の注意事項

レブメイトカードは、
受診時に必ずご持参ください。



にゅういん てんいん
入院や転院をするときは、特別な管理が必要なお薬
ふくよう
を服用していることを伝え、レブメイトカードを提示
してください。



飲み残したカプセルの種類や数を処方医師に報告し
てください。

※ ● ちりょうしゅうりょう じ
治療終了時に飲み残したカプセルがある場合
は、やくざい ぶ いんない やつきよく
薬剤部（院内薬局）で回収します。その際、
へんきん
返金はありません。



妊娠回避のお願い



赤ちゃん（胎児）に重大な障害を及ぼす
可能性があります。



にん ぶ やく ざい ばく ろ
妊婦、赤ちゃん（胎児）への薬剤曝露を
防止しなければなりません。



じゅ にゅう
●授乳をしないでください。

- 性交渉を控えてください。
- 性交渉を行う場合は必ず避妊※1をしてください。
無月経でも、避妊してください。
※1 避妊法の詳細については、「避妊法」（24ページ）をご覧ください。

ち りやう せう じ しやう りやう じ
治療開始 治療開始時 治療終了時 治療終了
4週間前 4週間後

治療開始4週間前※2、治療開始時※3、治療中は4週間を超えない間
隔ごと、治療終了時、治療終了4週間後に**避妊の状況**を確認し、**妊娠
反応検査**を行います。

※2 治療開始予定日の4週間以上前から性交渉を控えている場合は省略可

※3 治療開始3日前から直前

避妊法は、妊娠を100%回避できるわけではありません。
妊娠を確実に回避する方法は、「性交渉を控えること」です。

避妊の状況の確認

妊娠反応検査は、「陽性」となるまでに妊娠から一定の期間が必要です。したがって、妊娠していても「陰性」となる時期があるため、避妊が適切に行われていたことを確認します。

性交渉を控えていた

はい

いいえ

避妊法を行っていた

以下の2つの避妊法を行うことが必要

① 以下の方法で避妊していましたか？

・経口避妊薬（低用量ピル）

② 男性パートナーは必ずコンドームを着用していましたか？

はい

いいえ

妊娠の回避は適切である

妊娠の回避は適切でない

避妊がうまくいかなかったかもしれない、あるいは妊娠した可能性がある場合は、ただちに処方医師に相談してください。

〈緊急避妊〉

万が一、避妊をせずに性交渉をした場合には「緊急避妊」という方法があります。性交渉から72時間以内に緊急避妊薬（レボノルゲストレル錠）を服用する、または性交渉後なるべく早く中用量ピルを服用します。実施にあたっては、産婦人科医に相談してください。

避妊法

男女ともに行ってください。

女性

必ず産婦人科医と相談し、リスクを理解したうえで
以下を行ってください。

お薬を飲む



経口避妊薬
(低用量ピル)



お薬を服用して、
女性ホルモンの分泌を抑え、
排卵を止める。

男性

必ずコンドームを着用してください。



適正管理にあたってのお願い

- 処方医師の指導に従って服用してください。
- お薬を家で保管するときは、自己の責任のもとで管理してください。
または、薬剤管理者が管理してください。
- 1ヵ月に1回渡される「レブメイト定期確認票」に回答し、必ず提出してください。
- レブメイトを守らなかった場合、治療が中止となることがあります。

「レブメイト定期確認票」は、ご自宅でお薬の管理や妊娠回避を適切に行うなど、レブメイトの手順が守られているかを確認するためのものです。

70002

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 RevMate センター 宛 FAX: 0120-021-507 TEL: 0120-071-025

レブメイト定期確認票

☐ 医療機関で処方されたお薬を管理する ☒ 家庭で管理する

C 女性

これはレブメイトの手順が守られているか、確認するためのものです。
記載されているレブメイトの服薬と生体反応は、ご自身の状況と一致しない場合は、必ず医師に相談してください。
この確認票は、ご自身の責任で記入し、医師に提出してください。

C 女性の方へ

最近1ヵ月間の行動を思い出して、その実際の状況を教えてください。(必ず、回答のどちらか一方に○を記入してください)
なお、質問によっては、あなたの状況に当てはまらないこともあるかもしれませんが、この確認票はすべてのC女性を対象にしていますので、ご了承ください。

質問	回答	適切に管理した	適切に管理できなかった
1 お薬の保管・管理を適切に行いましたか?	適切に管理した	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 過去1ヵ月の間、性交渉がなかったか?	性交渉がなかった、又は、適切な避妊をした	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 お薬を他人へ譲渡したり、あるいは廃棄しましたか?	譲渡したり廃棄していません	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 お薬を紛失しましたか?	紛失していません	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

記入日 年 月 日 患者氏名

※患者氏名はFAX送付時、消印有誤となる場合があります。

以上で確認は終了です。ご協力ありがとうございます。

RevMate の患者ID 8110000000000000

患者さんの生年月日 年 月 日

薬局 ID 診療 機関名

定期確認票 交付日 20 年 月 日 定期確認票交付番号 (RevMate 遵守ガイドライン記載事項と併せて記載) 0000000000000000

医師 連絡先 TEL

様式 F2024-07-01

お薬の適正管理と注意事項

保管・管理の注意事項

他の人に譲渡しないでください。



飲食物と区別された場所に保管してください。



紛失しないようご注意ください。

万が一、お薬を紛失した場合は、ただちに薬剤部
(院内薬局)に連絡してください。



服用期間中の注意事項

カプセルを開けずにそのまま飲んでください。



治療中ならびに治療終了4週間後までは
献血をしないでください。



22ページの「妊娠回避のお願い」もあわせて遵守してください。

受診時の注意事項

レブメイトカードは、
受診時に必ずご持参ください。



入院や転院をするときは、特別な管理が必要なお薬
を服用していることを伝え、レブメイトカードを提示
してください。



飲み残したカプセルの種類や数を処方医師に報告し
てください。

※ ● 治療終了時に飲み残したカプセルがある場合
は、薬剤部（院内薬局）で回収します。その際、
返金はありません。



介助を受ける場合や、入院（転院）・入所の際に医療関係者に提示してください



- レナリドミド・ポマリドミドは、ヒトで催奇形性を示すサリドマイドに似たお薬です。そのため、特別な管理（レブメイトの遵守）が必要なお薬です。



介助をする方自身が曝露しないために

【参考文献】がん薬物療法における職業性曝露対策ガイドライン（2019年版）

- 薬剤を取り扱う際は、手袋を着用してください。手袋を外した後は、石鹸と流水で手を洗ってください。
- 患者さんの排泄物・体液を取り扱う際は、手袋、マスク、ガウンを着用してください。手袋を外した後は、石鹸と流水で手を洗ってください。



医療機関の皆さまへ

誤投与防止のための配薬・与薬・服薬確認の徹底と薬剤保管に関するお願い

配薬

ダブルチェックを行ってください。

与薬

必ず本人確認を行ってください。

服薬確認

患者さんが服用した後は、服薬確認を行ってください。

薬剤保管

「レナリドミド・ポマリドミドは特別な管理（レブメイトの遵守）を必要とする薬剤である」ことが容易に認識できるよう、他のお薬とは区別して保管※1してください。

- 保管方法は、責任薬剤師またはレブメイトに関わる薬剤師に確認してください。
- 患者さんが服用する必要がなくなったレナリドミド・ポマリドミドは、病院内の薬剤部（院内薬局）に返却してください。※2
- レナリドミド・ポマリドミドを紛失した場合には、すぐに処方医師または責任薬剤師に報告してください。※2
- 他院からの薬剤の持ち込み時や、一時帰宅時などの薬剤管理に関しても、施設内で適切な手順を設定してください。

※1 各医療機関の基準に基づき管理してください。

※2 レブメイト登録施設ではない場合は、レブメイトセンターにご連絡ください。

詳細については、RevMateホームページをご覧ください。

メモ

レブメイトホームページのご案内

レブメイトホームページには、患者さん向けのページをご用意しています。患者さん向けの小冊子や動画なども掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

レブメイトホームページ

レブメイト



<https://www.revmate-japan.jp/>

